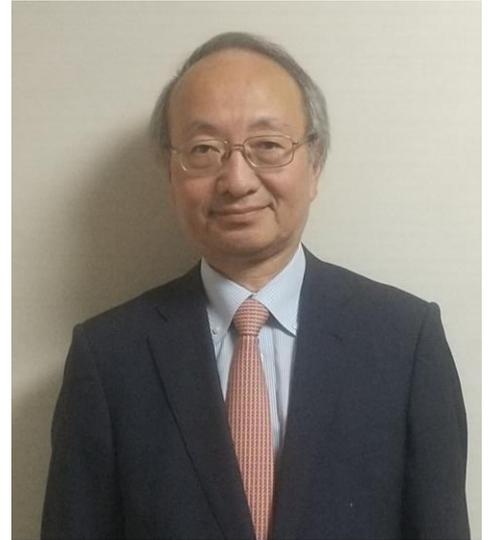


## 国産ロケットの国際展開プロジェクト

### - 日本の最先端技術を世界で羽ばたかせるための戦略は。宇宙技術の展開例を踏まえて考える。 -



**講師：** 藤木 完治  
一般財団法人 日本宇宙フォーラム理事長  
特定非営利活動法人 STSフォーラム顧問  
公益財団法人 日本棋院評議員  
前アラブ首長国連邦駐節特命全権大使  
元文部科学審議官

2023年7月12日（水）にお茶の水女子大学のプロジェクトマネジメント特論において、「国産ロケットの国際展開プロジェクト - 日本の最先端技術を世界で羽ばたかせるための戦略は。宇宙技術の展開例を踏まえて考える。 -」と題し、60名弱の学生を対象に茗荷谷キャンパスで講義を行った。

#### 講義の狙い

近年、日本技術とそれを利用した産業の国際競争力の低下が懸念されているが、現在でも世界をリードできる日本発技術は決して少なくない。しかし、それらの技術が、仮に他国を圧倒する高度・高品質なものであっても、ユーザーニーズに的確に対応して展開されなければ、結果として利用されることはない。ユーザーに受け入れられるためには、ユーザーが何を求めているのか関連情報を最大限収集し、それを踏まえて明確な目標を設定し、関係者が役割分担を明確にしつつ総合力を発揮しなくてはならない。即ち、精緻なプロジェクトマネジメントが必要である。世界最高水準の国産宇宙ロケット技術を例として、それがアラブ首長国連邦(UAE)の火星探査機計画の打上げに採用されるまでのプロセスを振り返り、プロジェクトマネジメントの果たした役割について理解することを狙いとした。

#### 講義の内容

講義では、UAEにおける宇宙開発利用の発展の経緯、国家計画である「火星探査プロジェクト」等を説明し、当該計画の中核となる火星探査機打上げにおいて厳しい国際競争を勝ち抜いて日本企業が受注を獲得するまでの状況を題材として、その成功に至るプロセスでプロジェクトマネジメントが果たした役割について学生とともに考察した。なお、近年修士課程学生が研究者としてのキャリア形成を避ける傾向が現れていることを踏まえ、講義では学生たちが科学技術分野でのキャリアに関心を深めるよう配慮した。

#### 学生たちの反応

学生たちからは、後日58通の感想と、29通の質問が届き、プロジェクトマネジメントに加えて、宇宙開発利用の実態、日本の科学技術力低下の要因、UAEへの関心、情報収集の要諦、等広範な関心を持ったことが判明した。講義者が元UAE駐節大使であり、現在日本宇宙フォーラムの責任者を務めていることもあり、感激しながら全ての質問に答えさせて戴いた。若者たちのキャリア形成に資する講義であったことを切に望むところである。